

<記入例>

第2号様式(第6条関係)

事業用大規模建築物における再利用計画書

《注①》  
〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先)  
港 区 長

建築物名称 〇△ビル  
建築物所在地 港区芝公園1-5-25  
所有者住所 港区芝公園1-5-25 《注②》  
株式会社〇△商事  
所有者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇  
(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)※印鑑不要

港区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第19条第3項の規定により、事業用大規模建築物における 〇〇 年度の再利用計画書を提出します。

建 築 物 の 属 性				
地上 10 階 地下 2 階	事業用延床面積	6,000㎡	建築物の用途別床面積(テナント数)	
本計画書に含まれる他の建築物の名称等《注③》			事務所	4 社 6,400㎡
建築物の名称: 〇△商事別館			店舗(飲食店を除く。)	1 店 300㎡
建築物の所在地: 港区芝公園1-5-26			飲食店・ホテル・式場	1 店 300㎡
建築物の構造: 地上5階 地下1階	事業用延床面積	3,000㎡	工場・研究施設	所 ㎡
当該建築物を使用している事業者(テナント等)の名称(別紙添付可)			倉庫・流通センター	所 ㎡
〇〇物産 〇△企画 〇□屋 ×〇(株) 《注④》			医療機関	所 ㎡
〇〇銀行 ホテル××			その他( )	㎡
在館人員	従業員(テナント従業員を含む)	250人	住宅 《注⑥》	3 世帯 500㎡
(一日平均)	外来者(通学者を含む)	500人	共用部分	2,000㎡
			計 《注⑤》	750人
			建築物の合計	9,500㎡
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現状と課題 分別回収ごみ容器及びリサイクルボックスの設置により、再生可能な紙類等の大半がリサイクルされるようになったが、一部徹底されていない部分があるため、再度周知徹底する。
一般廃棄物	(株) 〇〇商会	□□□□	〇△工場	
産業廃棄物	(株) 〇〇商会	□□□□□□□□	〇〇産業(株)	
医療系廃棄物	(株) 〇〇運輸	□□□□□□□□	〇〇産業(株)	
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先		
紙 類	(株)〇〇商会	(株)△□紙業		
段ボール	〇□商店	×〇産業		
廃 油	(株)〇〇商事	△△油脂		
ビン 類	△□興業	〇□ガラス		
カン 類	☆☆商事	△▽リサイクルセンター		
前年度の評価と今年度の目標			廃棄物管理責任者	
1 前年度の計画と実績の総合評価			選任年月日 《注⑦》	年月日
・焼却処分していた紙類を分別し、リサイクル出来たため、再利用率が8%アップした。			廃棄物管理責任者講習会の受講の有無	[ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ] [ <input type="checkbox"/> 無 ]
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標			会社名	株式会社〇△商事 〇-港第〇〇号
・紙類の再利用率を全体で10%アップさせる。			所在地(〒 000-0000)	港区芝公園1-5-25
3 目標達成へ向けた具体的な方策			所属・役職名	総務課長
・テナント会議で処理量を減らす為の協力を呼びかける。			ふりがな	みなと たらう
・ビル内を定期的に巡回して、分別状況を確認する。			氏 名	港 太郎
			電話番号	03(〇〇〇〇)〇〇〇〇 (内線)

※《注③》又は《注⑥》に該当する場合、ご留意願います。

《注①》 本計画書の作成年月日を記入して下さい。

《注②》 所有者名を記入して下さい。(印鑑は不要です)

ビル管理をしている会社等の名前ではありません。

《注③》 学校、病院等同一敷地内において共通の用に供せられ、また同一敷地ではなく離れているものの、  
廃棄物の処理・保管が一体として行われている複数の建築物を管理している場合に記入して下さい。

《注④》 当該建築物を使用している事業者(テナント等)の名称を全て記入して下さい。

記入欄が不足する場合は、別紙一覧表等を添付して下さい。

《注⑤》 従業員と外来者の人数は分かる範囲で必ず記入して下さい(排出量の参考となるため)。

(外来者については1日平均の人数)

《注⑥》 住宅が併設されており、かつ住宅からのごみ等を区の収集に出している場合は、  
事業用延床面積からは控除して記入して下さい(9,500㎡-3,000㎡(別館)-500㎡(住宅)=6,000㎡)。

《注⑦》 廃棄物管理責任者講習会の受講歴の有無に○を付けて下さい(修了番号もわかれば記入)。  
オンラインによる廃棄物管理責任者講習も含まれます。

(再利用計画書裏面の記入例)

建築物名称	○△ビル
-------	------

種類	年度区分	前年度実績(〇〇年4月～〇〇年3月)				今年度計画(〇〇年4月～〇〇年3月)				対前年度(今年度計画-前年度実績)			
		発生量(A)	処理区分		再利用率(B÷A×100)	発生量(D)	処理区分		再利用率(E÷D×100)	発生量の増減(D-A)	再利用率の増減(E-B)	廃棄量の増減(F-C)	
			再利用率(B)	廃棄量(C)			再利用率(E)	廃棄量(F)					
事業系廃棄物	可燃物	①コピー・OA用紙《注1》	10.0t	9.6t	0.4t	96.0%	9.5t	9.4t	0.1t	98.9%	-0.5t	-0.2t	-0.3t
		②機密文書等(一括処理文書)《注2》	3.9t	3.2t	0.7t	82.1%	3.9t	3.4t	0.5t	87.2%	0.0t	+0.2t	-0.2t
		③雑誌・パンフレット・色付き紙《注3》	6.8t	6.4t	0.4t	94.1%	6.5t	6.2t	0.3t	95.4%	-0.3t	-0.2t	-0.1t
		④新聞・折込チラシ	4.5t	4.4t	0.1t	97.8%	4.5t	4.4t	0.1t	97.8%	0.0t	0.0t	0.0t
		⑤段ボール	5.7t	5.6t	0.1t	98.2%	5.5t	5.5t	0.0t	100.0%	-0.2t	-0.1t	-0.1t
		⑥ミックスペーパー《注4》	11.5t	11.5t	0.0t	100.0%	13.0t	13.0t	0.0t	100.0%	+1.5t	+1.5t	0.0t
		⑦その他( )《注5》	13.4t	0.0t	13.4t	0.0%	11.5t	0.0t	11.5t	0.0%	-1.9t	0.0t	-1.9t
		紙類小計(①～⑦の合計)	55.8t	40.7t	15.1t	72.9%	54.4t	41.9t	12.5t	77.0%	-1.4t	1.2t	-2.6t
		⑧生ごみ(茶殻、残飯、吸殻等)	17.2t	0.0t	17.2t	0.0%	16.0t	0.0t	16.0t	0.0%	-1.2t	0.0t	-1.2t
		⑨木・草・繊維等《注6》	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t
その他小計(⑧～⑨の合計)	17.2t	0.0t	17.2t	0.0%	16.0t	0.0t	16.0t	0.0%	-1.2t	0.0t	-1.2t		
可燃物合計(①～⑨の合計)	73t	40.7t	32.3t	55.8%	70.4t	41.9t	28.5t	59.5%	-2.6t	+1.2t	-3.8t		
事業系廃棄物	不燃・焼却不適物	⑩飲食用びん類《注7》	2.0t	2.0t	0.0t	100.0%	2.0t	2.0t	0.0t	100.0%	0.0t	0.0t	0.0t
		⑪飲食用缶類《注7》	3.5t	3.5t	0.0t	100.0%	3.5t	3.5t	0.0t	100.0%	0.0t	0.0t	0.0t
		⑫ペットボトル《注7》	0.9t	0.7t	0.2t	77.8%	0.9t	0.8t	0.1t	88.9%	0.0t	+0.1t	-0.1t
		⑬食用油	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t
		⑭弁当ガラ	0.8t	0.0t	0.8t	0.0%	0.7t	0.0t	0.7t	0.0%	-0.1t	0.0t	-0.1t
		⑮その他( )《注8》	11.0t	3.0t	8.0t	27.3%	11.0t	3.5t	7.5t	31.8%	0.0t	+0.5t	-0.5t
		⑯その他( )《注8》	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t
		不燃・焼却不適物合計(⑩～⑯の合計)	18.2t	9.2t	9.0t	50.5%	18.1t	9.8t	8.3t	54.1%	-0.1t	+0.6t	-0.7t
⑰特定の事業活動に伴う可燃物《注9》	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t	0.0%	0.0t	0.0t	0.0t		
総合計(①～⑰の合計)	91.2t	49.9t	41.3t	54.7%	88.5t	51.7t	36.8t	58.4%	-2.7t	+1.8t	-4.5t		

備考:数量については、少数第2位を四捨五入し、少数第1位までの表示にしてください。

※建物から排出されるもの全てについて把握の上、報告に努めてください。  
特に②、⑩～⑫(バンダー分含む)

- 《注1》 ・色付きOA用紙は含まない。 ・OA用連続帳票を含む。 ・メモ用に裁断したものを含む。
- 《注2》 ・機密性を保持したまま溶解処理をした文書類(シュレッダー処理をした機密書類を含まない)。 ・テナント独自処理分についても把握の上、報告。
- 《注3》 ・色付きOA用紙を含む。
- 《注4》 ①～⑥以外の紙類(シュレッダー屑、包装紙等)をミックスペーパーとしてリサイクルしている場合。  
鉄道事業者が乗車券のリサイクルを行う場合は、こちらに記入。
- 《注5》 ①～⑥以外の紙類。油などで汚れた、再生に適さない紙。
- 《注6》 ①～⑧以外のもの、一般廃棄物の「動物死体」「ガーゼ等の医療廃棄物」「紙おむつ」を含む。
- 《注7》 建物内の全ての自動販売機で、バンダー業者が回収している分を含む。
- 《注8》 金属、ガラス、陶磁器類、プラスチック類、ゴム、皮革、汚泥、ビニール類等(注射針等の医療系廃棄物を含む)の⑩～⑭に属さない不燃、焼却不適物
- 《注9》 指定業種が排出する産業廃棄物の「木くず」「紙くず」「繊維くず」「動物」「動物系固形不要物(と畜場で解体した畜獣に係る固形状の不要物)」等

その他 ※清掃工場以外の、<民間処理施設>で、サーマルリサイクルされている品目があれば、再利用率に含めて計上してください。  
その場合、必ず別紙ごみ処理・リサイクルフロー図に最終処分先を記入してください。  
・臨時に排出する什器類(粗大ごみ)については記載不要です。  
・0.04t(40kg)のように、小数点以下第2位を四捨五入すると数値が「0.0t」となってしまう場合は、四捨五入せずにそのまま  
小数点以下第2位までの数値(【例】0.04t)と記入してください。  
・独自に項目を増やさないでください。項目にないものは、その他の欄に記入してください。